

平成29年 2月14日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GL、決算速報値の解説

～大幅に利益増加～

当社の重要な子会社でありますSET(タイ証券取引所)上場のDigital Finance会社Group Lease PCL(以下GL)は、同社がSETに開示した2016年の財務諸表につきまして業績の解説プレスリリースを公表いたしましたので、その内容を日本語にてご紹介いたします。

(以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳)

2017年 2月 14日

Group Lease Public Company Limited (以下、GL)は、2016年12月31日時点の連結財務諸表および個別財務諸表に関する2016年度の業績について、以下のとおりご説明させていただきます：

連結財務諸表

GLは2016年の業績を発表しました。連結純利益は、10億6,282万バーツ、前年比82.34%増の好業績でした。これは、2015年度の純利益に比べて、4億7,993万バーツの増加です。純利益の増加の要因としては、主に、リース購入利息収入の増加、資産担保ローン利息収入の増加、貸付債権に対する利息の増加、不良債権と破産更生債権の減少、担保権実行資産処分による損失の減少、不良債権処理に伴う損失の減少といった点が挙げられます。

1. 連結のハイパーパーチェス利息収入は、19億4,969万バーツとなり、5,125万バーツ増、2.70%増加となりました。主に、貸出金額の増加に伴い、カンボジア、ラオス、インドネシアの子会社からの受取利息が、それぞれ2億3,510万バーツ、7,191万バーツ、318万バーツ増加したことに起因します。しかし、この増加分は、GLからの受取利息が1億3,886万バーツ、現地子会社からの受取利息が1億2,011万バーツ減少したことにより、部分的に相殺されております。これは当社の戦略とビジネスモデル「Digital Finance」に沿ったものです。当社が目指す目的は、「タイ市場における新車オートバイリース債権の安全性と品質向上、新興市場における消費者の創造と成長」です。

2. 資産担保ローンの利息収入は1億1,693万バーツで、9,144万バーツの増加となりました。これは、新しいタイの子会社の事業拡大の成功を示しております。

3. 貸付債権に対する利息は、4億8,486万バーツとなりました。これはプロダクトサプライヤからの利息収入によるものです。GLの子会社は、GLの子会社が存在する国において、売上を拡大したい販売業者に対して、事業拡大ソリューションのサービスと財務サポートを提供しています。GLグループが提供する「Digital Finance」の新しいビジネスモデルにより、ハイパーパーチェス利息収入に加えて、これらの新しいタイプの収入を生み出しております。

4. その他の連結収益は、5億6,478万バーツから3億7,067万バーツに減少しました。1億9,411万バーツ、34.37%の減少となりました。これは以下の2つの要因により減少しております。一つは、本来なら貸付債権利息収入に再分類されるべき2015年の貸出債権の利息収入1億7,346万バーツがその他の収益に含まれていることです。二つ目は、2015年は、不良債権を6,383万バーツで売却したのに対し、2016年は全く不良債権を売却しておりません。2015年の貸付債権の利息収入と不良債権の売却額を除くと、2015年のその他の収入は3億2,748万バーツとなり、4,318万バーツ13.19%の増加となります。

5. GLの連結販売費及び一般管理費は、総額8億8,738万バーツで、前年比1億300万バーツ13.13%の増加となりました。これは、主に海外事業拡大による費用増加によるものです。しかしながら、販売費及び一般管理費の増加は、収益増加よりもゆるやかであり、費用効率のよい運営を示しております。

6. GLの連結不良債権および破産更生債権は、前年同期比4,330万バーツ12.14%とわずかに減少しています。これは、当社ポートフォリオの質の向上を示しています。これには以下の2つの理由があげられます。一つは、不良債権の少ない外国および新規事業ポートフォリオが大幅に増加したこと、第二に、タイの事業において、与信承認において厳格な方針を採用し、債務回収プロセスを改善したことによるものです。

7. 担保権実行資産処分による損失は、3億5,503万バーツから、1億2,278万バーツ、34.58%減少し、2億3,225万バーツとなりました。担保権実行資産の市場価値が徐々に上昇していることと、リース購入ポートフォリオの拡大に関連した再取得物件の増加に起因しております。担保権行使資産処分による損失とリース購入売掛金の比率は、2015年第4四半期の5.54%に対して、2016年第4四半期末時点では3.54%に減少しました。

8. 関連会社への投資から得た利益分配は、4,835万バーツであり、これはGLが29.99%の株式を保有するスリランカの関連会社からのものです。

9. GLの連結財務費用は、2億7,275万バーツであり、2015年の2億6,677万バーツに比べて、598万バーツ2.24%の増加となりました。これは主に、2016年第3四半期に発行された1億3,000万米ドルの転換社債から9,619万バーツの大きな利息費用が発生したことによるものです。しかしながら、資金調達のコストは、6.28%から4.66%に減少いたしました。

個別財務諸表

2016年の純利益は、3億4,021万バーツから4億8,193万バーツに増加いたしました。これは前年同期比で1億4,172万バーツ、41.66%増です。主な要因は以下の通りです：

1. リース購入利息収入は、2016年第4四半期は11億9,398万バーツで、2015年第4四半期の13億3,284万バーツから、前年度比1億3,886万バーツ10.42%の減少となりました。2016年第4四半期のリース購入総額が、2015年第4四半期より、わずか2億4,389万バーツ、5.84%減少したためです。これは、「タイ市場における新車オートバイリース債権の安全性と品質向上、新興市場における消費者の創造と成長」という当社の目指す戦略目的の結果であります。より厳格な顧客審査方針によりタイでの当社ポートフォリオの質は改善しております。

2. その他の所得は4億5,717万バーツから6億1,050万バーツに増加しました。1億5,333万バーツ33.54%の増加となりました。その内訳は、主に、海外子会社に対する貸付金からの利息収入が3億2,241万バーツ、リース購入関連の収入が1億4,350万バーツ、実現為替差益が3,640万バーツです。

3. 販売費及び一般管理費は、4億7,632万バーツから5億685万バーツに増加しました。これは3,053万バーツ、6.41%の増加です。主に海外事業拡大に伴う費用増加によるものです。

4. 2016年、GLの不良債権と破産更生債権は、2億2,095万バーツの水準に達し、前年比1億162万バーツ31.50%の減少となりました。これは、GLのポートフォリオの質が改善したこと、また、ローン回収プロセス改善の結果です。

5. 資産処分による損失は2億1,461万バーツで、9,450万バーツ、30.59%の減少となりました。これは、中古オートバイの市場価格の上昇、また、担保権行使資産売却による損失リスクのより効率的な管理によるものです。

6. 財務費用は2億6,114万バーツとなりました。2015年第4四半期の2億5,691万バーツと比較して、423万バーツ1.65%の増加となりました。これは主に、2016年第3四半期に発行された1億3,000万米ドルの転換社債から9,619万バーツの利息費用が発生したことに起因しております。しかし、平均資金調達コストは6.94%から3.43%に大幅に減少いたしました。

此下 竜矢
取締役

以 上